

皆さんこんばんは、Rallys 編集部の山下です。

卓球メディア Rallys で YouTube の動画配信を中心に学生卓球を取り上げている山下大志と申します（冒頭の挨拶は YouTube で名乗っている挨拶です笑）。

潜入・大学卓球部 ▶ すべて再生



木村香純、出澤杏佳を擁する超強豪校の独特の練習法と...
卓球メディアRallys
7.7万 回視聴・2年前

世界卓球銀・大島祐哉らを輩出した強豪校の練習とは？...
卓球メディアRallys
6.2万 回視聴・2年前

船学も卓球も一流の「文武双全」目指す伝統校 なぜ実力...
卓球メディアRallys
5.4万 回視聴・2年前

「大学で強くなりプロになれる環境」目指す強豪・中央...
卓球メディアRallys
5.2万 回視聴・2年前

「とにかく上に勝つ」下剋上狙う野心家軍団・駒澤大学...
卓球メディアRallys
4.4万 回視聴・1年前

3年ぶりのインカレ制覇の超強豪校の強さに迫る カット...
卓球メディアRallys
4万 回視聴・2年前

卓球選手の1日に密着してみた ▶ すべて再生



【1日密着】早稲田大のエース・濱田一輝の大学生活に1...
卓球メディアRallys
5.6万 回視聴・8か月前

【香取位走・吉岡桜子編】授業→練習→授業→練習の多...
卓球メディアRallys
4.6万 回視聴・1年前

【華やか】全国2位から一般生まで多様なメンバーが集...
卓球メディアRallys
3.6万 回視聴・6か月前

【枝廣農・川畑明日香編】リーグ戦単複全勝のスーパー...
卓球メディアRallys
3.5万 回視聴・1年前

【密着】愛工大名電高時代は同期3人(篠塚大登、濱田一...
卓球メディアRallys
1.9万 回視聴・1か月前

これまで出演いただいた皆さん、ありがとうございます！

現在、私は株式会社ラリーズという「アイデアで卓球をもっと身近に。」をミッションにメディア運営や商品開発・販売などを行っている企業で働いています。

取材で様々な選手たちの人生を深掘りしているのですが、あまり私自身の素性は明かしてこなかったもので、良い機会をいただいたこともあり、自分の卓球人生を振り返りながら、なぜここまで学生卓球が好きになったのかを語っていきこうと思います。本当に暇な方だけお読みください(笑)。

卓球の魅力にハマった高校時代

私は、小学校はバスケット部、中学校は野球部と卓球とは無縁な生活を送っていました。

中高一貫の学校だったため、中学野球引退後の中3の8月ごろには高校の軟式野球部に入部しました。しかし、監督が怖いのと練習がキツすぎたので、2週間で辞めました。

何かしら部活動には入りたいたいと思っていた朗らかな春の陽気を感じるとある日、卓球部に入っていた友達が「今日は寒いから帰るわ」と堂々と部活をサボっている現場に遭遇しました。

それを見た私は「これは楽そうだな」と卓球部に入ったことが、卓球との関わりの始まりでした。

楽そうだからという理由で始めた卓球でしたが、その奥深さや面白さにすぐにハマりました。近畿大会出場を目指して、朝練をしたり、夜も残って練習したりと個人的には努力していたつもりでした。

しかし、近畿大会には届かず（正確にはベンチ 8 番手で近畿大会に 1 度連れて行ってもらいましたが）、高校卓球は幕を閉じました。

最後の引退試合はダブルスで 2-0 リードから逆転で敗れ、負けた後は号泣しながら敗者審判をしたのを覚えています。今思うと、審判号泣してたら試合やりにくいですね。この場を借りて謝罪させていただきます。申し訳ございません。

リベンジを誓った大学生活 衝撃を受けた新人戦

卓球は高校でやり切って、近畿大会で有終の美を飾り、浪人してから大学に入って、テニスサークルで薔薇色のキャンパスライフを…と考えていたので、勉強は二の次でした。

しかし、まさかの近畿大会に出られないという想定外の事件が起こり、早めに引退。「大学で卓球を続けてリベンジするしかない…！」と大学で卓球をするというモチベーションだけで、そこから 1 日 10 時間以上の猛勉強をして何とか大学に滑り込めました。

迷うことなく卓球部に入ったのですが、想像以上のレベルの高さに困惑しました。部内の先輩方の強さにまず恐怖すら感じたのですが、もっと衝撃だったのは 4 月末にあった関西学生新人戦です。



ちなみに山下世代の関西新人優勝は現・立命館大学女子監督の矢城智宏さん（当時立命館大学）

試合自体は初戦で瞬殺されたので、そこからいろいろな試合を見ていたのですが、全国から集ったトップクラスの選手のプレーに驚かされてばかりでした。特に当時近畿大学の江藤慧選手（現・クローバー歯科カスピッズ）のバックドライブの速さには、度肝を抜かれました。



まだまだ現役でいてくれて嬉しいです

「今まで自分がやってきたのはただの遊びだったんだ」とそのとき初めて気づき、こんなに

も世界が違うんだと衝撃を受けました。そして、こんなにも卓球はダイナミックで面白いんだとさらにのめり込むことになりました。

憧れの選手たちの結果を追いかける日々

そこからの大学生活では、関西学生卓球界の 1 部校のトップ選手たちに憧れ、練習に取り組みながら、様々な選手の結果を追いかける日々でした。

動画や写真がないときは、各学連のページでトーナメントを眺めて、勝ち上がりを追いかけていました。おそらく当時は、全国に出ている大学生の選手名はそこそこ頭に入っていたと思います（笑）。

同年代の大島祐哉選手（当時・早稲田大学）や吉村真晴選手（当時・愛知工業大学）ら全国のみならず世界で活躍する選手たちの、たまに流れてくる動画や写真を見て興奮していました。



山下世代興奮の一戦（全日本 2024）

ちなみにリベンジを誓ったはずの自身の成績に関しては、ベンチどころか観客席を温めるだけに終わり、ひっそりと現役生活を終わりました。

大学卓球を通して感じたこと

幼少期から様々なことを犠牲にして、卓球に打ち込んできた選手たちのプレーは、芸術の域に達しているなど心の底から思っています。

ただ、大学になってからモチベーションが低下し、場合によっては卓球を辞めてしまうことや、大学までやり抜いてその後プロや実業団で卓球を続けるのは狭き門であることを徐々に知り、どうにかできないものかとよく考えていました。

そして今、Rallys で卓球メディアの仕事に取り組むことができます。

選手たちには「大学でも卓球をしてよかった」と感じられるような 4 年間で悔いなく全うしてもらい、その結果、今後の人生が豊かになってほしいと思っています。



山下が選ぶ 2023 年ベストゲーム

そのために Rallys というメディアを使って、大学を筆頭に学生卓球を多く取り上げ、出演した選手が少しでも「取り上げられて嬉しかった」「また頑張りたい」と思ってもらえるようなメディアにしていきたいと日々意識しています。

私自身が弱い選手だったからこそ、オリンピック代表に選ばれるような大学生選手だけでなく、大学卓球部に入って努力する選手たちの活躍に心を打たれ、日々活力をもらっています。



岡野俊介選手の全日学優勝も感動的でした！

これからも大学卓球界を筆頭に、日本の卓球界を支える学生卓球をさらに発展させ、盛り上げるべく活動していきます。ぜひ取材時は優しく対応してくださると嬉しいです。ご一読いただき、ありがとうございました！